



2021-2022年度 第5週報 2021年(令和3年) 9月3日発行

会報特別号

「緊急事態宣言」の再発令に
伴い、緊急事態宣言発令中の例会は休会させて頂いて
おります



写真提供 小池 將夫

クラブ会員の広場 —近況報告—

小山市康 会長

残暑厳しい中、会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。新年度に入り僅か1ヶ月後に緊急事態宣言により例会が出来なくなり大変残念なことあります。

「このような情勢の中で会員の皆様はどうされているのかな?」という心配と会員相互間の配慮から近況報告などをお願いすることにしました。

コロナ禍で対面が難しい状況です。世間ではオンラインでの会議などは今や当たり前になりつつも、実際にはなかなか浸透が大変難しいこともあります。おそらくコロナ禍が過ぎ去っても、今後はオンライン化の方法はより一層の進化を遂げていくと思います。コミュニケーションツールとしてはどうなの?と一定のルールではいいけど異論のある会員はもちろんいらっしゃいます。

しゃいます。ただ思うことは、リアルとオンラインの両方の良い部分を検証しうまく融合して上手にこなしていく方向に繋がっていくものと期待は出来ます。

このような中、どういう時にでも会報は大変大事な役目があることを認識していかなくてはなりません。その時その時の様子が克明に蘇ってくるような記事も必要です。将来のためにクラブの様子や皆さんとのことを記録に残していくものです。

変化が激しいこの様な時にどう向き合い対応すべきか。皆で知恵を出し合い思いやりを見失うことなく、ロータリー活動を身近な職業奉仕から繋げモチベーションを維持して頂きたく思います。

コロナ禍が一日でも早く収束し、会員皆様の相互の交流や親睦が現実に再開できるよう心よりお祈りする次第です。

2021-2022年度 RI会長 シェカール・メータ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

例会日 毎週金曜日 0:30 ~ 1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)
 例会場 ホテルキャメロットジャパン
 URL <http://www.kanagawahigashi.com/>
 E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

第2590地区 ガバナー 小倉 正

会長 小山市康	会計 白井康夫
会長エレクト 赤堀伽寿一	副会計 渡邊淳
副会長 横溝亘	S A A 古澤一憲
副会長 加藤仁昭	副S A A 加野亮一
幹事 友添辰哉	副S A A 吉田隆男
副幹事 馬場佳子	クラブ会報 清水茂夫

事務局 ホテルキャメロットジャパン内
 〒220-0004 横浜市西区北幸1-11-3
 TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555
 創立記念日 昭和51年5月29日

淡水の“Mr. ROTARIAN” 林錫卿(リン シ キイン)さんを偲ぶ 石川正三 会員

2021年、この夏、私たちはクラブの国際奉仕を、永年、外から支えてくれていた、二人の“大御所”を相次いで亡くすという悲しい出来事を体験した。

お一人は、スリランカに導いてくれた、OWOP協会の前会長、鈴木一男さん（7月16日ご逝去 享年92歳）。もうお一人は、台湾のR Cとの“架け橋”淡水R Cの創設者、林錫卿さん（7月31日ご逝去 享年88歳）のお二人。

鈴木さんについては、7月30日の例会で、短時間ながらも、永年の感謝を追悼することが出来たので、この会報の特別号では林さんの思い出を綴ることにしたい。

台湾のロータリーとの提携は、当クラブの創立者、吉橋伊佐男さんが「国際交流はロータリー活動の重要な柱」という、強い意志で進められたものだが、幸いにも、提携先に選んだ、台湾淡水R Cの初代会長の林さんも全く同じ考えの持ち主だったため、この“両雄”的な主導によって、我々は昭和57年(1982年)以降、約40年間、実のある交流が続けられている。

お二人の考えは、多くの会員による、相互のクラブ訪問を、単なる飲み会にせず、この理念に基づいて、私たちは双方の実情を把握して奉仕をしようというもの。

学童の絵画の交換、小学校の改築への支援、スリランカの山村に日台共同で井戸を寄贈したりもした。この上、林さんは会員同士だけでなく、家族ぐるみの交流にも力を入れておられた。私も何回かお邪魔したが、淡水R Cの例会では、毎週会員の奥様方が総出で料理を作り、全員で食事をすることになっており、この親睦が家族ぐるみの交流の原点になっていたように思う。

田邊会員の奥様の葬儀の際、林さんご夫妻は遺族席に座り、参列者を迎えるということがあったが、これこそ、林さん流の心温かい家族ぐるみの親睦の仕方と、我々は感激したことがある。

さて、当クラブは、10年毎にこれまで4回、創立何十周年の記念式典を開いているが、林さんは陳足夫人と共に、なんと皆勤賞ということをご存じの方がおられるだろうか？（クラブの会員の中でも、皆勤賞はわずか7人に過ぎない）

この記念式典で私には忘却がたい想い出がある。それは平成8年（1996年）5月の20周年記念の時だった。フィナーレで吉橋さんが挨拶で演壇に上がると、どこにいたのか、林さんが突如、演壇に駆け上がって、後ろから“米寿”的吉橋さんに抱きつき「100歳まで頑張りましょうヨ」と呼びかけた。（後日、吉橋先輩は「あれはロータリアンとして人生最良の瞬間」と目を潤させていた）見ていた私たちも「これぞロータリー」を実感させられた一瞬だった。「林さんはすごいや！」会場は万雷の拍手に包まれたことはいうまでもない。

林さんはその後、淡水R Cから台北中心部のクラブに移り、R I -348地区のガバナーを務められたりしたが、来日するときは必ずクラブに顔を出し、近況を話し合ったりしていた。

一昨年（2019年）4月、林さんの体調が良いと聞いて、私たち有志9人は、台北のレストランに、お互い顔見知りの林家ご一家を招き、永年のご厚意に感謝する会を開いた。林さんたちは、大変喜んで下さったが、写真はその時のもの。

粋なハット姿で、あのんなつっこい林さんの笑顔を直接見ることは、もう出来なくなって、大変淋しい想いだ。しかし、私たちの脳裏から、あの笑顔が消え去ることは決してありません。心を込めて、ご冥福をお祈りする次第・・・。



加藤仁昭 会員

8月の旧盆では 每年恒例の迎え火、送り火を今年は大雨の為、できませんでした。昨年母が96歳で亡くなり新盆の施餓鬼供養が15日にありましたがコロナ禍の為、参加者の人数制限がありました。

緊急事態の中でもゴルフは定期的に行ってます。思うことは、ゴルフは屋外なので最近はすごく混んでいることと、私よりずっと高齢の皆様がプレーされている姿にはいつも大変元気づけられます。

仕事での懸念としてはデルタ株の発症が子供達に急増していることです。昨年みたいに学校休校になると大きな影響を受けます。

皆様と元気で再会出来ますことを祈念して

友添辰哉 会員

皆様こんにちは。私は7月に2回目のワクチン接種を終えました。もっぱら感染対策に努め外出、外食も控えて家にこもっています。大好きなゴルフは月に2回程度に控えて楽しんでいます。こればかりはやめられません。

仕事は建築工事をやっておりますが8月に入り現場でコロナ感染者が出てしまい工事が延期になり再開の見通しが立たずになっています。

ロータリーでは地区の会長・幹事会が開けず中止になっています。当クラブでは8月に理事会を開催しました。今後の日程、ホームページの編集などの打合せをしました。緊急事態宣言発令中の例会は休会になりますが、理事会は開催予定です。各委員会は蜜にならないように感染を防ぎ開催する予定です。9月3日は広報・IT委員会に出席予定です。

馬場佳子 会員

みなさま、ご無沙汰しておりますが、お変わりありませんか。8月上旬にワクチン接種2回終了しました。

ステイホームのせいかはわかりませんが、昨年来、体重がウナギのぼりのため、最近はなるべく体を動かすように努めています。朝のテレビ体操、ウォーキング、ピラティス、ストレッチ…。すると、ご飯が今まで以上に美味しく感じられ、食欲もウナギのぼり。これまで控えていた甘味、飲酒も少しならよいか、と解禁。夜もぐっすり、すやすやと眠ることができ、結果、二重顎の発生など、運動の当初目的は完全に見失っておりますが、体調はすこぶる良好です。

みなさまとお会いする日を楽しみにしております。

表紙の写真 T5



“東京2020パラリンピック”が8月24日から開催され、トライアスロンの競技会場となるお台場海浜公園の“自由の女神像”的にシンボルマーク『スリーアギトス』のモニュメントが設置されていました。

【写真提供 小池 将夫 会員】

北村大輔 会員

皆さんお元気でいらっしゃいますか。

緊急事態宣言により休会となり、皆様とお会い出来なくて寂しいです。

私のお店も、また休業になり7月21日から休業しています。今年は三ヵ月ぐらいしか仕事をしておりません。お休みしている間に、別の事業を始めています。障害者グループホームです。まだ、物件が見つかったところで、これから申請などの手続きがあり9月ぐらいから忙しくなりそうです。

また、例会が開けるようになりましたら、皆さんの元気なお顔が拝見出来る事を楽しみにしております。まだ暑さも続きコロナ感染の不安があるかと存じますが、くれぐれもご自愛下さい。

8月度定例理事会開催

8月20日（金）、緊急事態宣言発出中ではありますが、理事・役員の方にお集まり頂き、8月度定例理事会を開催致しました。

また、8月20日の例会に参加を予定していた2021-22年度R財団奨学生の伊藤主峰君（8/23よりスペインへ留学）ですが、例会が休会となってしまったので、この日にお越し頂きました。ご挨拶を頂戴し、小山会長より餞別をお渡し致しました。

なお、議事録につきましては、メールもしくはFAXにて会員皆様に配布済みです。



R財団奨学生 伊藤主峰君へ餞別贈呈



2021-22年度 R財団奨学生 スペイン ナバラ大学派遣 伊藤　主峰

2020年6月に追加された「環境の保護」という新しいロータリーの使命は、全人類の課題であり、私が将来貢献を望んでいる分野でもあります。この使命を果たしていく人材となるために私ができることは、自然と人間との関わりにおける理想の精神とその文化に触れ、地域で啓蒙していくことだと考えました。

私は、神奈川県湯河原町で地元の森林インストラクターの方と自然教室を行っています。新型コロナウイルスの影響でイベントが一時中止になったことを期に、これを単発的な活動ではなく、地域の文化として根付かせたいと思うようになりました。

そして、その文化には背景となる信条や精神があるのではないか、その精神について学ぶことで文化を作っていくヒントが得られるのではないかと考えました。そのため、今回の留学では、固有の文化を持つバスク地方の神話を例にとって人間と自然との関わりにおける精神を学び取ることを目的としています。



藤木川に注ぐ池峯の滝にて（2021年8月19日筆者撮影）

現在、大学では「生物多様性保全のために人々の文化の中で引き継がれてきた自然環境への知識とそれと関わる知恵にはどのようなものがあるか」を自らの研究テーマとし、題材としてアイヌ口承文学を扱っています。

先日、北海道に行く機会があった際に白老町のウポポイ（民族共生象徴空間）、アイヌ工芸で有名な平取町の二風谷（びらとりちょうにぶたに）へ足を運びました。文献で得たアイヌの世界観やそれを表現する儀礼具の展示はさることながら、最も印象に残ったのは実際にその文化を伝え、生業とし、文化の中で暮らしている人々の姿でした。一度途絶えてしまった狩猟技術を復興させてそれを伝えようとする人、職業には到底ならなくとも工芸を長年続ける人、村社会のように来るものは拒まずに迎え入れ、その手では乾燥させた葦で糸を紡ぐ等、複数の他なる文化の流れがあるということを学びました。そして、そのような人に自分が興味を持っているシマフクロウを題材にしている口承文学の言葉の意味を伺えたことはとても貴重でした。現地で調査をする際、そのような複数の視座を取り入れてリアルに近づけるように意識したいと考えています。

最後になりましたが、このようなパンデミックの状況の最中で留学という特別な機会に預かり、推薦して下さった神奈川東ロータリークラブの皆様に心から感謝いたします。これからは留学期間、地区の奨学金委員の方々、学友会の方々、現地で受け入れて下さるロータリアンの方々からのご期待とご支援を胸に精一杯学んで参ります。

皆様のお元気なお顔を帰国報告会でまた拝見できることを待ちにしています。それでは、いってきます！ ¡Hasta siempre！



アイヌの伝統的な家屋「チセ」にて（2021年8月9日）

ロータリーニュース

R I 会長からのメッセージ

2021年8月

今日は会員増強がテーマですが、本年度は皆さんのご協力をもって歴史を刻む記録を樹立したいと考えております。20年以上にわたって、ロータリーの会員数は120万人のままで、ロータリーは116年の歴史を有し、220以上の国と地域に会員を擁して、ポリオ根絶などの人道的なプログラムでこれまで偉業を成してきた、活気に満ちた団体です。ロータリーは会員だけではなく多くの人びとの人生を豊かにしてきました。みんなの人生を豊かにするために奉仕をしていく中で、より多くの人が超我的の奉仕にいそしむようになれば、ロータリーは今まで以上の変化をもたらすことができる、とは思いませんか。

2022年7月迄にロータリーの会員数を130万人に増やすというビジョンを私は掲げています。「みんなが一人を入会させよう（Each One, Bring One）」という実に分かりやすい掛け声のものと。本年度は、あらゆるロータリアンとローターアクターにそれぞれ一人誰か新しい人をクラブに紹介してもらいたいのです。

ロータリーは会員制の組織であり、会員はロータリー最大の資産です。ロータリー財団をこれほど支援してくださるのは皆さんです。大きな夢を抱いて、有意義なプロジェクトによって世界によいことをもたらしているのは、皆さんです。それにももちろん、ポリオ根絶の目前まで迫ることができたのは皆さんの力です。

会員増強を本年度の優先事項にするにあたり、若い世代、特に女性に働きかけて、多様性に焦点を当てましょう。どのクラブも新会員を迎え入れてください。そして、新会員を紹介するどのロータリアンのこととも、私が個人的に称えたいと思います。25人以上の新会員を獲得できた人は、新設されたメンバーシップ・ソサエティの会員となります。

ロータリーの贈り物をほかの人びとと分かちあうときには、かならず新会員にも働きかけましょう。一度心からロータリーに賛同したロータリアンは生涯その姿勢を変えることはありません。そして、現会員の維持も新会員の獲得と同じくらい重要な

ことを忘れてはなりません。新クラブ、特に柔軟性の高いクラブの設立には積極的に取りくみましょう。バーチャル形式やハイブリッド形式の例会を導入しているクラブをとても心強く思います。また、衛星クラブや活動分野に基づくクラブもロータリーの成長に大きく役立つことでしょう。

ロータリーが今まで以上に大きくなれば、今まで以上にたくさんのことができるようになります。各重点分野での活動を通じて、女児のエンパワメントを続けていきましょう。女児の奨学金、学校トイレの設置、健康と衛生についての教育など、できることはいくらでもあります。環境分野のプロジェクトも、世界中で関心を集めています。そういった国内外のプロジェクトに参加して、人類とあらゆる生物のためにこの世界をよりよい場所にしていきましょう。

皆さん一人ひとりがロータリーブランドの親善大使であり、ロータリアンが世界中で行っているあらゆる素晴らしい活動をロータリーの外にも発信していく必要があります。ソーシャルメディアを活用して友人、同僚、親戚に超我の奉仕のストーリーを伝えましょう。

最後になりましたが、本年度は、ロータリーの内外からボランティアが結集し、クラブの活動を地域社会に発信するロータリー奉仕デーを、どのクラブにも少なくとも1度は計画することを期待します。

2021年9月

みんなの人生を豊かにするために奉仕する中で、自分の人生も豊かにしてくれるような体験をしていることでしょう。誰かの人生を大きく変えるには、読み書きが覚えられるように援助するのもひとつの手です。読み書きができるようになると新しい世界がひらけます。地元の人びとの暮らしについて学べて、ほかの文化が理解できるようになります。読み書きを覚えることで人びとつながることができ、ほかの人を思う心を言葉で表現できるようになります。

9月はロータリーの基本的教育と識字率向上月間です。識字率向上は、貧困脱却、健康増進、平和推進という私たちの活動において非常に重要です。低所得国であらゆる生徒が卒業時に基本的なリーディングスキルを習得していれば、世界的な貧困率が大幅に低減するのです。

教育を受けられなければ、読み書きができない子どもは読み書きができない大人になるだけです。今日では、全世界の成人人口の14%（7億6200万人）が基本的なリーディングスキルとライティングスキルを習得していません。その3分の2が女性です。読み書き（読解力）と数的思考力は、一生の間によりよい住宅、ヘルスケア、雇用を手するために必須のスキルです。

特に女児と成人女性にとって、読解力は生死に関わることもあります。すべての女児が初等教育を修了できれば、出産で命を落とす女性の数はずっと少なくなることでしょう。また、読み書きができる母親の場合、子どもの5年生存率は高くなります。世界中でより多くの人びとの人生をより豊かにするには、各国政府が女児の教育への障壁をなくさなくてはなりません。これにははつきりとした経済的な理由もあります。男子中心の学校

教育を行っている国では、経済的な機会損失は年に10億以上にものぼります。

教育によって人びとに力を授けることこそ、私たちがロータリアンとして掲げる目標の中でも最大級に野心的な目標です。読み書きができないために誰かに読んでもらわなければならなかつたり、自分の名前くらいしか書けなかつたりと日々の暮らしがままならない人びとは、決して遠い存在ではありません。

今月から、どうすれば識字率向上によって人びとの暮らしを豊かにするために奉仕できるか、その方法を模索してみましょう。大人に読み書きや地元で話される言語を教える無料プログラムを提供している地元の団体や、読み書きに重点を置いた教師の専門能力開発を行う地元の団体を支援しましょう。識字率向上のメンターになりましょう。世界中の子どもたちに学習機会を増やすために活動しているGlobal Partnership for Educationなどの団体と協力しましょう。地元の学校や図書館で行われているプログラムを支援できぬいか、または地元で必要とされているプログラムを立ちあげられないか相談してみましょう。

インドのロータリークラブとインド政府が協力して大きな成果をあげたTEACH programは、大規模の識字率向上プログラムを行うことで何百万人もの子どもたちを助けられた好例です。パンデミックのためインド中が休校になった際には、このプログラムはEラーニングにより国営放送を使って1億人を超える子どもたちに教育を提供しました。

読み書きの習得は、貧困を脱出するための第一歩です。ノーベル賞を受賞したマララ・ユスフザイさんが言うように、「ひとりの子ども、ひとりの教師、1冊の本、1本のペンが世界を変えることができる」のです。

シェカール・メータ
2021-22年度会長

世界中のロータリープロジェクト(2021年8月)

メキシコ

80人の青少年を対象に活動するSoles de Anapraは、あるひとりの女性が子どもたちを街中の暴力事件から守るためにシウダーフアレスで行っていた活動から誕生しました。2014年以降、エルパソ・ロータリークラブ（テキサス州カミノ・レアル）はルルド・コントレラスさんが小さな自宅で行っていた放課後プログラムに用品を寄贈していました。2015年、同クラブはコントレラスさんにもっと広くて整った活動の場を提供することを決定。シウダーフアレスで活動する16のロータリークラブとニューメキシコの2つのパートナークラブ（同センターを頻繁に訪れ支援しているロスアラモス・ロータリークラブとシルバーシティ・ロータリークラブ）が25,000米ドルを寄付し、Eaton Corporationが後援した5キロマラソンで集まった10,000米ドルを資金として、同クラブは2016年に約560m²の倉庫を購入し、改装に取りかかります。パンデミックにより放課後プログラムが一時中止となる中も改修工事は続けられ、4月には完成にこぎつけました。

米国

10月に、オークレアモーニング・ロータリークラブ（ウィスコンシン州）に所属する12名の会員が家族とともにInvisible Spray（見えないスプレー）という製品を用いて、街中の歩道に雨の日にしか見えない、消せるストリートアートを描きました。製造元のRainworksがこの疎水性で無毒性の液体スプレーを提供。このスプレーを使えば、雨の日に出現するデザインを描くことができます。1本約130ドル、473ミリリットル入りで、10m²にアートが描けます。「パンデミックという大変な状況の中、地域の人びとを笑顔にできないか」、そして他団体にもインスピレーションを与えられないかと考えた、と同クラブ共同会長のサラ・スタッツハウスさんは言います。消防署の前の歩道には消防士の帽子の下に感謝の言葉を添えた絵が描かれ、劇場の入り口には「雨に唄えば」の音符が描かれました。

クラブ会員の広場

タウンニュースに掲載

タウンニュース神奈川区版 2021年（令和3年）8月19日号に、遍照院（山本芳弘住職）が『おすすめビュースポット』として紹介されておりました。

2021年8月19日号



例会4回

7月度出席報告

■ 名誉会員 ■ 出席率算出除外会員

会員	メークアップ	ホームクラブ									
青柳 紀	100	100	川崎 典子	100	100	友添 長哉	175	100	吉田 隆男	150	75
赤堀 和人	175	100	北村 大輔	100	100	中野 真理	75	50	吉橋佐千男	0	0
天野 公史	100	100	小池 將夫	75	75	長野 肢	75	75	我妻 隆邦	0	0
飯田 泰之	100	100	河野 明光	100	100	西山 潔	100	100	渡邊 淳	125	100
池田 広樹	125	100	小山 市康	175	100	馬場 佳子	125	100	富居 利貞	0	0
池宮 寿治	75	75	清水 茂夫	100	100	古澤 一憲	125	100			
石川 正三	100	100	白井 康夫	25	25	茂木 知子	100	100			
伊東 英紀	75	75	白鳥 厚夫	100	100	森永 健	125	100			
植田 清司	125	100	須永 久一	100	100	矢野 修二	100	100			
鴻 義久	75	75	角野 弘幸	125	100	山木 幹夫	75	75			
大橋 秀行	0	0	田口健太郎	100	100	山崎 善也	25	25			
岡部雄一郎	100	75	田中龍太郎	100	100	山田 正憲	150	100			
加藤 仁昭	175	100	田邊 正彦	75	75	山本 登	100	100			
金森 欣一	75	75	月山 勇	100	100	山本 芳弘	125	100			
加野 亮一	150	75	角田 伯雄	100	100	横溝 亘	150	100			
											月平均 93.99%

Yoshitaka Nakatani
Photo & Haiku poem Exhibition "MAWARIBUTAI"

フォト俳句作品展

中谷 吉隆

俳号・龍子

2021.9.30 THU ▶ 10.11 MON 入場無料

2021.9.30 THU ▶ 10.11 MON 10:30 - 18:30 (最終日16:00終了)

定休日は火曜日・水曜日となります。最新情報はホームページをご確認の上ご来場ください。

写真と俳句のコラボレーションの先達は、浅草、向島界隈を愛した永井荷風で80年前。荷風の下町、「奥の細道」への旅、四季の移ろい、海外もの、夏目漱石ゆかりの神楽坂、心に傷みをともなう社会現象やコロナ禍、そして自身の来し方を見詠めたフォト俳句は回り舞台。俳句は和紙に墨書き、約70点の作品を展示する。

リコーイメージングスクエア 東京

〒163-0690
東京都新宿区西新宿1-25-1
新宿センタービル MB（中地下1階）
TEL／0570-006371ナビダイヤル）

営業時間／10:30-18:30
休館日／火・水定休および弊社休業日
入場無料、最終日は16:00終了

<http://www.ricoh-imaging.co.jp/>

